

令和 8 年度下関市立病院経営強化プラン評価委員会議事録【概要】

令和 8 年 7 月 2 7 日（月） 14 時 00 分～15 時 00 分

下関市立本庁舎西棟 5 階 大会議室 C

下関市立病院経営強化プラン評価委員会

：上野委員長、田中委員、湯木委員、塚原委員、山田委員

下関市保健部

：藤野部長、渡邊所長、藤永部次長、米崎部次長

（豊田中央病院事務局）三好事務局長ほか 1 名

（地 域 医 療 課）奥村課長補佐ほか 2 名

1. 開 会

2. 下関市保健部長あいさつ

3. 委員紹介、事務局紹介、委員会説明

4. 議 事

下関市立病院経営強化プラン点検・評価について

《地域医療課より点検・評価書(案)について説明》

《豊田中央病院事務局より評価表について説明》

＝質疑応答・意見等＝

1 役割・機能の最適化と連携の強化

（3）機能分化・連携強化

評価委員会

逆紹介率は計画を上回っているものの、紹介率・病床利用率が未達であり、評価 2 が妥当である。

令和 8 年度は手術件数の拡充による病床利用率の向上が見込まれるが、令和 7 年度については、この数値でいくとやや遅れていると言わざるを得ない。

事務局 プランでは休床中の 11 床の再開を目指すとされているが、現状の病床稼働率では、目標の変更を検討しなければならない。

6 経営の効率化等

(2) 目標達成に向けた具体的な取組

①役割・機能に的確に対応した体制の整備

評価委員会 訪問看護について、近隣に民間の訪問看護ステーションの参入があり、訪問看護件数がかなり減少しているようだが、病院としての今後の方針は。

豊田中央病院 24 時間サービスについては、現状、地域内における供給が概ね充足されており、当方への顕著なニーズは見受けられない。加えて、病棟も看護師不足という状況があったため、病棟の方を強化し、訪問看護の方を縮小している状況である。

事務局 今後としては、地域の多様なニーズを見据え、訪問看護サービスのさらなる充実を図りたいと考えている。

②経営強化を図る体制の整備

評価委員会 収支の改善という結果が伴っていないことから自己評価を厳しくしていると思われるが、体制的な整備という点ではプランどおり実施されているため、評価 3 が妥当である。

③外部アドバイザーの活用について

評価委員会 最終的な結果には結びついていないものの、外部アドバイザーを活用し様々な改善に取り組んだという点ではプランどおり実施されているため、評価 3 が妥当である。

豊田中央病院 令和 7 年度の取組としては、無理せず長く働き続けられるよう一部年齢層の職員の勤務日数の短縮或不採算の割合が大きい診療科の診療日数の縮減により、人件費等の削減

を図った。また、複数の加算の算定を開始した。

事務局

人件費の縮減や加算の取得、病床運用の見直しについては、経営改善に向けた取組として一定の効果が出ているものの、主には病床稼働率が低いために、その効果が消えてしまっている。

全般を通じて

評価委員会

豊田中央病院は、地域になくてはならない病院である。しかし、地域の人口やその他の要件等考えると、経営について評価するのは非常に厳しいものがある。

到達可能な目標を掲げてこそ、意味があるのではないか。是非、経営強化プランの見直しをお願いしたい。

5. 閉 会

了